



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : アルファテック380 S (夏用) 主剤
 会社名 : アルファ工業株式会社
 住所 : 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-51
 担当部署 : 技術部
 電話番号 : 045-500-0500
 FAX : 045-500-0550
 緊急連絡先 : 045-500-0500

2. 危険有害性の要約

◆製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2B
 皮膚感作性 : 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 1
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 皮膚刺激
 眼刺激
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

: 環境への放出を避けること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

漏出した場合 : 漏出物を回収すること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

: 涼しい/換気の良い場所で保管すること。

廃棄 : 容器を密閉しておくこと。
: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- ◆単一製品・混合物の区別 : 混合物
- ◆化学名又は一般名 : 変性エポキシ樹脂

成分名	CAS No.	化審法番号	化管法政令番号	含有量 (%)
ビスフェノールAエポキシ樹脂	25068-38-6	7-1279;7-1283	-	< 50
ビスフェノールFエポキシ樹脂	9003-36-5	7-1285	-	< 35
グリシジルエーテル類	非公開	非公開	-	< 20

- ◆危険有害成分 (その他成分は非公開。ただし、化審法・CASは登録済み)

4. 応急措置

- ◆応急措置の記述
 - 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
 - 皮膚 (又は髪) に付着した場合 : 多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。
 - 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 - 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 - 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
 - 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- ◆消火剤
 - 適切な消火剤 : 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
 - 不適切な消火剤 : 棒状注水
- ◆消火を行う者への勧告
 - 特有の消火方法 : 初期の消火には二酸化炭素、泡、粉末などの消火剤を使用する。大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
 - 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
掃き集めて、容器に回収する。
回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。
- 二次災害の防止策 : 漏出物を回収すること。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

◆取扱い

技術的対策

取扱者のばく露防止
局所排気、全体換気
注意事項

: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
: 排気/換気設備を設ける。
: 皮膚に触れないようにする。
: 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
: 指定された個人用保護具を使用すること。

衛生対策

: 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

: 涼しい/換気の良い場所で保管すること。
: 容器を密閉しておくこと。

安全な容器包装材料

: 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

◆管理指標

管理濃度

: データなし

◆ばく露防止

設備対策

: 密閉された装置を使用する。
: 適切な換気のある場所で取扱う。
: 排気/換気設備を設ける。
: 手洗い/洗眼/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

: 有機ガス用マスク等を着用する。

手の保護具

: 保護手袋を着用する。

眼の保護具

: 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

◆基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状

: 液体

色

: 淡黄色

臭い

: 特有臭

融点/凝固点

: データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

: データなし

可燃性

: データなし

爆発限界及び爆発上限界/可燃限界

: データなし

引火点

: 130 °C

自然発火点

: データなし

分解温度

: データなし

pH

: データなし

粘度

: 400 - 700 mPa · s

溶解度

: データなし

n-オクタノール/水分分配係数

: データなし

蒸気圧

: データなし

密度及び/又は相対密度

: データなし

相対ガス密度

: データなし

粒子特性

: データなし

比重

: 1.15 (23 °C)

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
避けるべき条件	: 過剰な加熱、混触危険物質との接触、火源。
混触危険物質	: 強酸、強塩基、酸化性物質 エポキシ樹脂硬化剤、重合開始触媒
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物 低分子有機化合物 (構造不明)

11. 有害性情報

◆ 毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性 (経口)

グリシジルエーテル類 : ラット LD50 = 4500 mg/kg (Patty 5th, 2001)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

グリシジルエーテル類 : ラビット Draize test: 中程度刺激性 (PATTY 5th, 2001)

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : ラビット 刺激性(CERIハザード)データ集2001-36, 2002et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

グリシジルエーテル類 : ラビット 洗眼後も僅かな刺激性 (PATTY 5th, 2001)

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : ラビット 軽度の刺激性(CERIハザード) データ集 2001-36, 2002)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性[厚労省局長通達]

: ビスフェノールAエポキシ樹脂

皮膚感作性

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : cat.1; DFGOTvol.19, 2003

グリシジルエーテル類 : cat.1; PATTY 5th, 2001

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

誤えん有害性 : データなし

その他情報 : この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報

◆ 生態毒性

水生環境有害性

: 水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性)

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=1.7mg/L/48hr (CERI・NITE, 2006)

水溶解度

: 0.0000041 g/100 ml (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : BODによる分解度 : 0% (既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

ビスフェノールAエポキシ樹脂 : BCF <= 42(Check & Review, Japan)

土壌中の移動性

: 土壌中の移動性データなし

他の有害影響

: オゾン層への有害性データなし

その他情報

: この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境

上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

: 環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

: 内容物を使い切ってから廃棄すること。
許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

◆国連番号、国連分類

番号 : 3082
国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 9
容器等級 : III
指針番号 : 171

◆環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当)

水生環境有害性 : 短期(急性) 区分1 該当物質 ビスフェノールAエポキシ樹脂
水生環境有害性: 長期(慢性) : 長期(慢性) 区分1,2 該当物質 ビスフェノールAエポキシ樹脂

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質 (X類) : ビスフェノールAエポキシ樹脂
ビスフェノールFエポキシ樹脂

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全性 : 有害物質 分類9
航空法 : その他の有害物質 分類9

15. 適用法令

◆当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 : 該当しない
労働安全衛生法
有機溶剤等 : 該当しない
変異原性が認められない化学物質 : ビスフェノールAエポキシ樹脂
[厚労省局長通達] : ビスフェノールFエポキシ樹脂
化学物質管理促進(PRTR)法 : 該当しない
消防法 : 第4類 第3石油類 危険等級 III
化審法
優先評価化学物質 : ビスフェノールAエポキシ樹脂
適用法規情報 : 記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分やサプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容は現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価

に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常のお取り扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする等の場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和元年度 (2019年度))です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : アルファテック380 S (夏用) 硬化剤
 会社名 : アルファ工業株式会社
 住所 : 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-1-51
 担当部署 : 技術部
 電話番号 : 045-500-0500
 FAX : 045-500-0550
 緊急連絡先 : 045-500-0500

2. 危険有害性の要約

◆製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1
 皮膚感作性 : 区分 1
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 3
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 臓器の障害のおそれ
 水生生物に有害
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

: 環境への放出を避けること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合
 吸入した場合

: 医師に連絡すること。
 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚 (又は髪) に付着した場合

: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合

: 医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
- 貯蔵 : 涼しい/換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- ◆単一製品・混合物の区別 : 混合物
- ◆化学名又は一般名 : 変性脂肪族ポリアミン

成分名	CAS No.	化審法番号	化管法政令番号	含有量(%)
変性脂肪族ポリアミン	4949-64-8	3-333	-	< 85
m-キシリレンジアミン	1477-55-0	3-308;3-2888	-	7.5
イソホロンジアミン	2855-13-2	3-2286	-	3.7
4-tert-ブチルフェノール	98-54-4	3-503	1-368	1.0

- ◆危険有害成分 (その他成分は非公開。ただし、化審法・CASは登録済み)
 安衛法「表示すべき有害物」該当成分 m-キシリレンジアミン
 安衛法「通知すべき有害物」該当成分 m-キシリレンジアミン
 化管法「指定化学物質」該当成分 4-tert-ブチルフェノール

4. 応急措置

- ◆応急措置の記述
 - 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - 皮膚 (又は髪) に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
多量の水と石けん (鹼) で洗うこと。
 - 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 - 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
 - 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- ◆消火剤
 - 適切な消火剤 : 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
 - 不適切な消火剤 : 棒状注水
- ◆消火を行う者への勧告
 - 特有の消火方法 : 初期の消火には二酸化炭素、泡、粉末などの消火剤を使用する。
大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 回収後の少量の残留分は土砂又はおがくず等に吸収させる。
二次災害の防止策	: 漏出物を回収すること。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

◆取扱い

技術的対策

取扱者のばく露防止 局所排気、全体換気 注意事項	: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 : 排気/換気設備を設ける。 : 皮膚に触れないようにする。 : 眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項	: 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

: 涼しい/換気の良い場所で保管すること。
: 容器を密閉しておくこと。
: 施錠して保管すること。

容器包装材料

: 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

◆管理指標

許容濃度

m-キシリレンジアミン	: データなし : ACGIH (1992) STEL: 上限値 0.1mg/m ³ (皮膚吸収、眼、皮膚及び胃腸刺激)
-------------	--

◆ばく露防止

設備対策

: 密閉された装置を使用する。
: 適切な換気のある場所で取扱う。
: 排気/換気設備を設ける。
: 手洗い/洗眼/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	: 有機ガス用マスク等を着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣を着用する。
衛生対策	: 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

◆基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状	: 液体
色	: 青色
臭い	: 特有臭
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 120°C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
粘度	: 150 - 250mPa・s
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
比重	: 1.05 (23 °C)

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
避けるべき条件	: 高温状態、混触危険物質との接触、火源。
混触危険物質	: 酸、酸化性物質 エポキシ化合物
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

◆毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性 (経口)

m-キシリレンジアミン : ラット LD50 = 660 mg/kg (ACGIH, 2001)

イソホロンジアミン : ラット LD50 = 1030 mg/kg (SIDS, 2008)

急性毒性 (経皮)

m-キシリレンジアミン : ラビット LD50 = 2000 mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

急性毒性 (吸入)

m-キシリレンジアミン : ミスト : 雌ラット LC50 = 0.8 mg/L/4hr (Directive 84/449/EEC, B.2.; GLP) (SIDS (Access on Apr.2012))

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

m-キシリレンジアミン : ラット/マウス 腐食性 (SIDS (Access on Apr. 2012))

イソホロンジアミン : ラビット 刺激と炎症 (SIDS (access on 7 2008))

4-tert-ブチルフェノール : ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

m-キシリレンジアミン : 腐食性物質 (UN RTDG)

イソホロンジアミン : ラビット 腐食性 (SIDS (access on 7 2008))

4-tert-ブチルフェノール : ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008)

感作性

皮膚感作性

m-キシリレンジアミン : cat.1; guinea pig : SIDS, 2012

イソホロンジアミン : cat.1; SIDS, 2008

生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	
4-tert-ブチルフェノール	: cat.2; 環境省リスク評価第13巻, 2015
催奇形性	: データなし
特定標的臓器毒性	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	
m-キシリレンジアミン	: [区分1] 肺 (SIDS, Access on Apr. 2012)
4-tert-ブチルフェノール	: [区分2] 全身毒性 (SIDS, Access on Apr. 2012; ACGIH, 2001)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: [区分3] 気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)
イソホロンジアミン	: [区分2] 呼吸器系 (SIDS, 2008)
誤えん有害性	: データなし
その他情報	: この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報

◆生態毒性

水生毒性	: 水生生物に有害 長期継続的影響により水生生物に有害
水生環境有害性 短期(急性)	
m-キシリレンジアミン	: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 15 mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2009)
イソホロンジアミン	: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 23 mg/L/48hr (SIDS, 2005)
4-tert-ブチルフェノール	: 甲殻類 (ベイシュリンブ) LC50/EC50 = 1.9 mg/L/96hr (EU-RAR, 2008)
水生環境有害性 長期(慢性)	
4-tert-ブチルフェノール	: 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC(r) = 0.32 mg/L/72 hr (環境省リスク初期評価第13巻, 2015)
水溶解度	
m-キシリレンジアミン	: よく溶ける (ICSC, 2002)
イソホロンジアミン	: 非常によく溶ける (ICSC, 1996)
4-tert-ブチルフェノール	: 溶けない (ICSC, 2000)
残留性・分解性	
4-tert-ブチルフェノール	: 急速分解性がなく (BOD分解度 = 0%/14 days; TOC分解度 = 1.2 %/14 days (通産省公報, 1977))
イソホロンジアミン	: BODによる分解度: 0 % (既存点検, 1986)
m-キシリレンジアミン	: BODによる分解度: 22 %/4 weeks (既存化学物質安全性点検データ, 1984)
生体蓄積性	
4-tert-ブチルフェノール	: log Pow = 2.4 through 3.4 (ICSC, 2000)
m-キシリレンジアミン	: log Pow=0.18 (ICSC, 2002); BCF < 2.7 (Check & Review, Japan)
土壌中の移動性	: 土壌中の移動性データなし
他の有害性	: オゾン層への有害性データなし
その他の情報	: この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法	: 環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから廃棄すること。 許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

- ◆国連番号、国連分類
 - 番号 : 2735
 - 国連分類 (輸送における危険有害性クラス) : 8
 - 容器等級 : III
 - 指針番号 : 153
- ◆環境有害性
 - MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
 - 海洋汚染物質 : 非該当
- ◆バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II改訂有害液体物質及びIBCコード
 - 有害液体物質 (Y類) : イソホロンジアミン
- ◆国内規制がある場合の規制情報
 - 船舶安全法 : 腐食性物質 分類8
 - 航空法 : 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

- ◆当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
 - 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 - 労働基準法
 - 疾病化学物質
 - 感作性を有するもの [厚労省局長通達] : 4-tert-ブチルフェノール
 - 労働安全衛生法
 - 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
 - 名称表示危険/有害物 : m-キシリレンジアミン
 - 名称通知危険/有害物 : m-キシリレンジアミン
 - 化学物質管理促進 (PRTR) 法
 - 第1種指定化学物質 : 4-tert-ブチルフェノール
 - 消防法 : 第4類 第3石油類 危険等級 III
 - 水質汚濁防止法
 - 指定物質 : 4-tert-ブチルフェノール 法令番号 55
 - 適用法規情報 : 記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分やサプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 JIS Z 7252 : 2019
 JIS Z 7253 : 2019
 2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
 Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容は現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常のお取り扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする等の場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
 ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和元年度 (2019年度)) です。